キャベツのコナガに対する主要な薬剤

　この表は，令和４年12月末日時点でキャベツのコナガに登録のある薬剤について，県内出荷数量を考慮し抜粋した。また，「日本における農業用殺虫剤の作用機構」を参考に，主要グループ及びサブグループに薬剤を分類した。

コナガなどの薬剤感受性が低下しやすい害虫には，サブグループが同一の薬剤の連用は避ける。

また，薬剤の感受性については，現在までの薬剤の使用履歴，薬剤の散布方法，病害虫の発生状況，気象条件などにより，ほ場によって大きく変わる。よって，表中の感受性低下の事例は目安として，現地ほ場においては，薬剤散布後に効果の有無を確認する。

なお，薬剤の使用に当たっては，農薬のラベルを必ず確認する。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 主要グループ | サブグループあるいは代表的有効成分 | 有効成分 | 薬剤名（例） | 感受性低下の事例（注１） |
| １ | １Ａカーバメート系 | メソミル | ランネート45ＤＦ | ・他県であり2）4） |
| １Ｂ有機リン系 | ＰＡＰ | エルサン乳剤 |  |
| アセフェート | オルトラン水和剤 | ・他県であり2）4） |
| ３ | ３Ａピレスロイド系ピレトリン系 | エトフェンプロックス | トレボン乳剤 | ・他県であり2）3）4）5) |
| ペルメトリン | アディオン乳剤 | － |
| ４ | ４Ａネオニコチノイド系 | アセタミプリド | モスピラン顆粒水溶剤 | ・県内であり・他県であり2） |
| ジノテフラン | スタークル顆粒水溶剤 | － |
| ５ | スピノシン系 | スピネトラム | ディアナＳＣ |  |
| スピノサド | スピノエース顆粒水和剤 |  |
| ６ | アベルメクチン系ミルベマイシン系 | エマメクチン安息香酸塩 | アファーム乳剤 | ・他県であり3） |
| レピメクチン | アニキ乳剤 | ・他県であり3） |
| 11 | 11Ａ*Bacillus thuringiensis* と殺虫タンパク質生産物 | *B.t. subsp. aizawai* | ジャックポット顆粒水和剤 | － |
| ゼンターリ顆粒水和剤 |  |
| チューレックス顆粒水和剤 | － |
| *B.t. subsp. kurstaki* | チューンアップ顆粒水和剤 | － |
| デルフィン顆粒水和剤 |  |
| *B.t. subsp. aizawai**B.t. subsp. kurstaki* | バシレックス水和剤 |  |
| 12  | 12Ａジアフェンチウロン | ジアフェンチウロン | ガンバ水和剤 |  |
| 13  | ピロール | クロルフェナピル | コテツフロアブル | ・他県であり3）5) |
| 14 | ネライストキシン類縁体 | カルタップ | パダンＳＧ水溶剤 | ・県内であり・他県であり3）5) |
| チオシクラム | リーフガード顆粒水和剤 | ・他県であり5) |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 主要グループ | サブグループあるいは代表的有効成分 | 有効成分 | 薬剤名（例） | 感受性低下の事例（注１） |
| 15 | ベンゾイル尿素系 | フルフェノクスロン | カスケード乳剤 | ・県内であり・他県であり１）3）4）5) |
| ルフェヌロン | マッチ乳剤 | ・他県であり3）5) |
| テフルベンズロン | ノーモルト乳剤 | ・他県であり2）3）5) |
| 18 | ジアシル-ヒドラジン系 | メトキシフェノジド | ファルコンフロアブル | － |
| 21 | 21ＡＭＥＴＩ剤 | トルフェンピラド | ハチハチ乳剤ハチハチフロアブル | ・他県であり2）3）4）5) |
| 22（注２） | 22Ａオキサジアジン | インドキサカルブ | トルネードエースＤＦ | ・他県であり3）4） |
| 22Ｂセミカルバゾン | メタフルミゾン | アクセルフロアブル | ・県内であり・他県であり3）5) |
| 23 | テトロン酸及びテトラミン酸誘導体 | スピロテトラマト | モベントフロアブル | － |
| 28 | ジアミド系 | シアントラニリプロール | ベネビアＯＤ | ・他県であり3）5) |
| クロラントラニリプロール | プレバソンフロアブル５ | ・県内であり・他県であり１）2）3）4）5) |
| フルベンジアミド | フェニックス顆粒水和剤 | ・県内であり・他県であり１）2）3）4）5) |
| テトラニリプロール | ヨーバルフロアブル | － |
| 30 | メタジアミド系イソオキサゾリン系 | フルキサメタミド | グレーシア乳剤 | － |
| ブロフラニリド | ブロフレアSC | － |
| ＵＮ（注３） | ピリダリル | ピリダリル | プレオフロアブル | ・県内であり・他県であり2） |
| －（注４） | Ｑｉ阻害剤 | フロメトキン | ファインセーブフロアブル | － |
| － | ボーベリア　バシアーナ | ボタニガードＥＳ | － |

（注１）平成29年度の県内調査又は参考資料において，処理３日又は４日後の補正死虫率が70％未満の地点を確認した薬剤は，感受性低下の事例ありとした。なお，県内調査による場合は「県内であり」，参考資料による場合は「他県であり」として参考資料の番号を記載した。また，県内及び参考資料内で調査していない薬剤については，「－」と記載した。

（注２）22Ａと22Ｂの化合物は同一の標的部位に作用すると考えられるが，最近の知見では代謝分解に基づくサブグループ間での交差抵抗性のリスクは低いと示唆されている。

（注３）「UN」は，作用機構が不明あるいは不明確な剤

（注４）「－」は，Crop Life Internationalの対策委員会で認定されていない有効成分

参考資料

１）平成27年度病害虫発生調査速報第12号コナガの薬剤感受性検定（結果の速報）（香川県）

２）平成26年度病害虫発生調査速報第12号コナガの薬剤感受性検定（結果の速報）（香川県）

３）病害虫防除技術情報（第６号）アブラナ科害虫コナガのジアミド系殺虫剤の感受性低下及び薬剤感受性の検定結果について（愛媛県　平成28年度）

４）平成26年度技術情報第５号（コナガに対する薬剤効果試験）について（鹿児島県）

５）病害虫防除技術情報（第６号）アブラナ科害虫コナガの薬剤感受性の検定結果について（愛媛県　平成30年度）